

研修 評価

研修名	看護職のための自殺予防と対策（Ⅰ） ～看護職がゲートキーパーとしての役割を果たすために～				
領域	政策提言に向けた研修	会場	看護研修センター オンライン研修	受講料	無料
対象	ラダーレベルⅡ～Ⅴ 看護職（保・助・看・准）、精神保健福祉関係職員、介護福祉関係職員、自殺ハイリスク者の支援に当たる職員 募集数(90人)応募数(116人)受講数(109人)会員数(56人)非会員数(53人)				
日時	令和5年7月21日（金曜日） 9：30～16：40				
ねらい（目標）	1. うつ病の早期発見と対応のポイントを学ぶ。 2. うつ傾向にある患者のかかわり方を学ぶ。 3. 事例を通して地域で支える仕組みについて学ぶ。				
講師	福島 昇 関谷昭吉				
内容・方法	1. 新潟県の自殺の現状と対策 2. 自殺対策：どう気づいて、どう対応するか～いのちを守るために大切なこと～ 3. 自殺・自傷を防ぐための支援 ～苦しみを理解し支える面接～ 4. 高齢自殺未遂者への支援～支援ネットワーク作り～(実践報告) ○研修方法 ・ハイブリッド形式（講義・演習）				
結果・評価 （受講者の意見感想）	○アンケートの回収率は66%。受講者の所属施設数は、行政22、病院一般21、病院精神が10、福祉施設8、居宅介護支援事業所5、その他（診療所等）7。 経験は、10年未満54.8%、10年以上25年未満が28.7%、25年以上が16.5%。研修の理解度は、「理解できた、ほぼ理解できた」が平均100%。研修内容の満足度は、「満足、ほぼ満足できた」が100%であった。自己課題の達成度97.3%であった。 ○受講者からの意見感想 言葉一つにしても受け止め方、受け取り方が違うことがわかり、日々の実践でどうだったのか振り返る機会になった。 支援者自身のメンタルヘルスも重要だと改めて感じ、元気をいただきました。				
企画の評価	○ねらいとの整合性は94.5%。上記のアンケート結果からも、目標は達成でき、プログラムは妥当であった。 ○事前準備・当日の運営など ・講師との音声確認が不十分だったため、一部音声が届いていなかった。 ○受講者側からの意見 Zoomで研修を受けることができ、遠方まで出張をしなくてよかったので負担が軽く、業務の都合をつけて参加することができました。グループワークは、Zoomだと難しいと感じました。				
課題	・講義開始前に講師と音声の確認をしておく。				
担当者	教育委員				